

---

# 全国高等専門学校 第26回プログラミングコンテスト 本選実施要項(参加要項)

---

この要項は、本選実施に関する重要なものです。本選に出席される関係者に至急お渡しください。

課題部門・自由部門・競技部門ともに9月4日(金)締切及び10月2日(金)締切で提出いただきたい書類等  
がありますので、内容のすべてに必ず目を通してください。

また、本選時にはこの資料を必ずお持ちください。

全国高等専門学校 第26回プログラミングコンテスト委員会

**全国高等専門学校 第26回プログラミングコンテスト  
本選実施要項(参加要項)**

1. 大会全般についての連絡事項(各部門共通) .....	1
1.1 主催・共催・後援・協賛・役員 .....	1
1.2 事務局 .....	1
1.3 参加者 .....	2
1.4 審査委員 .....	2
1.5 会場案内 .....	3
1.6 日程 .....	4
1.7 提出書類等 .....	5
[1] 9月4日(金)締切分 .....	5
[2] 10月2日(金)締切分 .....	6
[3] 受付時提出書類 .....	6
1.8 知的財産権について .....	7
1.9 表彰について .....	7
1.10 学生交流企画について .....	8
1.11 会場使用上の注意点について .....	8
1.12 宿泊・昼食・指導教員等情報交換会及び会場への交通 .....	8
1.13 問い合わせ先 .....	9
1.14 著作物等の扱いについて .....	9
1.15 その他の注意事項 .....	9
2. 課題・自由部門についての連絡事項 .....	10
2.1 システムの搬入・搬出について .....	10
2.2 プレゼンテーションについて .....	10
2.3 デモンストレーションについて .....	11
2.4 本選審査手順について .....	12
3. 競技部門についての連絡事項 .....	14
3.1 組み合わせ .....	14
3.2 競技進行の概要 .....	14
3.3 競技部門の賞 .....	14
3.4 予行演習 .....	14
3.5 注意事項 .....	14
3.6 質問受付 .....	15

付録1 会場案内図

付録2 交通案内

付録3 課題部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル

付録4 自由部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル

付録5 ブースの配置と展示スペースの概略寸法

付録6 デモンストレーション審査, マニュアル審査のタイムテーブル

付録7 競技組み合わせ

別紙資料1	同意書	1通
別紙資料2	システム等の調書	2通
別紙資料3	課題・自由部門 プログラムソースリスト表紙例	1通
別紙資料4	課題・自由部門 操作マニュアル表紙例	1通
別紙資料5	競技部門 プログラムソースリスト表紙例	1通

緊急連絡先調書

梱包識別票

# 1. 大会全般についての連絡事項(各部門共通)

## 1.1 主催・共催・後援・協賛・役員

主 催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会

共 催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会(NAPROCK)

後 援 文部科学省，総務省，経済産業省，長野県，長野県教育委員会，長野市，長野市教育委員会，公益財団法人日本教育公務員弘済会長野支部，長野商工会議所，公益財団法人長野県テクノ財団，一般社団法人コンピュータソフトウェア協会，一般社団法人情報処理学会，一般社団法人電子情報通信学会，一般社団法人教育システム情報学会，国立研究開発法人情報通信研究機構，一般社団法人オープン&ビックデータ活用・地方創生推進機構，株式会社 BCN，日刊工業新聞社，信濃毎日新聞社，NHK，SBC 信越放送，NBS 長野放送，abn 長野朝日放送，TSB テレビ信州，長野工業高等専門学校技術振興会，長野工業高等専門学校後援会，長野工業高等専門学校同窓会

特別協賛 (株) Cygames、東芝ソリューション (株)、(株) インテリジェントウェイブ、ウエルネット (株)、(株) エスキュービズム・テクノロジー、さくらインターネット (株)、(株) シーエーシー、(株) スペースタイムエンジニアリング、セイコーエプソン (株)、(株) 電算、(株) トヨタコミュニケーションシステム、(株) ドリーム・アーツ、ネクストウェア (株)、富士通 (株)、(株) ブロードリーフ、(株) ルクレ

一般協賛 アイフォーコム (株)、アイ・システム (株)、エクセルソフト (株)、(株) エヌ・ティ・ティ エムイー (NTT-ME)、(株) NTTPC コミュニケーションズ、(株) NTT ぷらら、M-SOLUTIONS (株)、ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ (株)、(株) BCN、(株) フォーラムエイト、富士ソフト (株)、(株) 富士通コンピュータテクノロジーズ、メディア総研 (株)、(株) ワコム

### 大会役員

大会会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会会長

前 野 一 夫 (木更津工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長

田 原 正 夫 (東京都立産業技術高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長

小 島 知 博 (サレジオ工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長

新 田 保 次 (鳥羽商船高等専門学校長)

副会長 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会理事長

神 沼 靖 子 (一般社団法人情報処理学会 フェロー)

副会長 第 27 回大会 (次年度) 主管校校長

新 田 保 次 (鳥羽商船高等専門学校長)

副会長 第 26 回大会主管校校長

黒 田 孝 春 (長野工業高等専門学校長)

## 1.2 事務局

事務局 長野工業高等専門学校 学生課内

公式サイト <http://www.procon.gr.jp/>

### 1.3 参加者

予選において選抜された作品の制作学生及び指導教員

- 課題部門 20チーム
- 自由部門 20チーム
- 競技部門 57チーム
- NAPROCK 国際プログラミングコンテスト
  - 参加海外チーム 5ヶ国 7チーム
    - ハノイ国家大学(ベトナム) 競技部門 1チーム
    - モンゴル科学技術大学(モンゴル) 競技部門 1チーム
    - 国立台北科技大(台湾:長野高専招聘) 課題部門 1チーム
    - ペトロナス工科大学(マレーシア:都城高専招聘) 3部門、3チーム
    - 香港 IVE (中国:東京高専招聘) 競技部門 1チーム
  - 参加大学生チーム 3大学 3チーム
    - 中京大学チーム
    - 豊橋技術科学大学チーム
    - 神戸大学

### 1.4 審査委員

審査委員長

神 沼 靖 子 一般社団法人 情報処理学会 フェロー  
特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会理事長

審査委員

芦田 義久 (株) インテリジェントウェイブ 専務取締役  
芦原 栄登士 (株) C y g a m e s 取締役  
池田 武史 (株) ルクレ 代表取締役  
井場 辰彦 (株) シーエーシー ICT 営業本部 技術企画 サービスプロデューサー  
臼井 支朗 豊橋技術科学大学 エレクトロニクス先端融合研究所 特任教授  
梅村 恭司 豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授  
大岩 元 慶應義塾大学 名誉教授  
金田 茂 (株) スペースタイムエンジニアリング プロジェクトマネージャ  
佐藤 亮 ネクストウェアグループ 株式会社システムシンク 取締役  
杉田 泰則 長岡技術科学大学 電気系 准教授  
谷口 雄一郎 (株) ブロードリーフ 新規事業開発部リーダー  
武下 真典 (株) エスキュービズム・テクノロジー 代表取締役  
林 直樹 富士通(株) 行政・文教システム事業本部  
文教第三ソリューション統括部 部長  
堀内 征治 高専プロコン交流育成協会顧問 (前長野市教育長)  
前川 賢治 株式会社ドリーム・アーツ 取締役執行役員 VC 企画開発本部長  
前川 徹 一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会 専務理事  
松澤 照男 北陸先端科学技術大学院大学 理事・副学長  
丸山 英樹 NHK放送センター 放送技術局 メディア技術センター  
クロスメディア部 部長  
宮地 力 国立スポーツ科学センター スポーツ科学研究部 副主任研究員  
森 良哉 (株) 東芝 インダストリアル ICT ソリューション社 技監  
吉川 満則 (株) 電算 技術開発部 部長  
吉田 育代 フリーランスライター  
鷺北 賢 さくらインターネット(株) さくらインターネット研究所 所長

[マニュアル審査]

久保 慎一 ネクストウェア(株)  
津曲 潮 (株)デザイン・クリエイション

(五十音順 敬称略)

## 1.5 会場案内

本選会場の主な施設名及び使用目的をお知らせします。

詳細な会場案内については付録1の会場案内図または公式サイトをご覧ください。

1. 開会式・閉会式会場	大ホール
2. 課題部門プレゼン会場	1階 中ホール(大会1日目)
3. 自由部門プレゼン会場	2階 小ホール(大会1日目)
4. 課題部門・自由部門デモ会場	1階 ギャラリー (展示室)
5. 競技部門会場	大ホール
6. プロコン委員控室	3階 第1会議室
7. 審査員控室	3階 第3~4会議室 1階主催者事務室 (2日目利用可能)
8. 審査室	3階 第3~4会議室
9. 競技部門関係者控室	2階 6号楽屋
10. 参加学生控室	2階 7~8号楽屋
11. 競技部門学生控室	1階 大ホール 1階ステージ前席
12. 海外チーム控室	2階 13~14号楽屋
13. 主管校大会本部	3階 第2会議室
14. 報道関係者控室	1階 1号楽屋
15. VIP控室	1階 5号楽屋
16. VIP控え室(文科省)	1階 3号楽屋
17. 主管校学生教職員控室	1階 9~12号楽屋
18. 協賛後援控室	1階 4号楽屋
19. 企業展示会場	1階 大ホールホワイエ
20. 主管校企画1(パネル展示)	1階 中ホールホワイエ
21. 主管校企画2(科学講演会・長野高専学生発表)	1階 中ホール(2日目)
22. 主管校企画3(小中学生対象科学体験実験)	2階 小ホール(2日目)
23. 学生交流会	1階 中ホール(1日目夕方)
24. 総合受付	1階 玄関ホール
25. 昼食配布場所	2階 エレベーターホール
26. 高専カンファレンス (卒業生企画)	2階 リハーサル室
27. 救護室	1階 2号楽屋(和室)
28. デモ用梱包物置き場	1階 展示事務室・1階楽屋ロビー

## 1.6 日程

10月10日(土) 参加者受付

17:00～19:00 ホクト文化ホール 1階 玄関ホール で受付を行います。  
(受付場所は、「付録1 会場案内図」をご覧ください。)

※ 引率教員が受付を済ませ、名札、配付資料を受領してください。

※ 提出物については、「1.7 提出書類 [3] 受付時提出書類」をご覧ください。

10月11日(日)

- やむを得ず当日受付を希望するチームは、プロコン委員会事務局(「1.13 問い合わせ先」参照)に事前にご連絡ください。

	課題・自由部門	競技部門
8:00	(会館開場予定時刻 8:00)	
9:00	8:20～ 8:30 参加者連絡会議 (デモ会場【ギャラリー(展示室)内]) 8:30～ 9:05 システム搬入チェック	8:30～ 8:50 参加者連絡会議 (大ホール)
	9:20～10:00 開会式(大ホール)	
10:00	10:10～16:50 プレゼンテーション審査 (課題部門: 中ホール) (自由部門: 小ホール)	10:10～13:00 予行演習 (大ホール)
11:00		
12:00		
13:00		10:10～10:40 システムセッティング (ギャラリー(展示室))  10:40～17:00 デモンストレーション 一般公開 (ギャラリー(展示室))
14:00		
15:00		
16:00		
17:00	17:00～17:30 学生交流会 その1 17:30～18:30 学生交流会 その2	デモ会場での交流 中ホールにて
18:00	18:30～21:00 指導教員等情報交換会(メルパルク長野)	

10月12日(月)

	課題・自由部門	競技部門
8:00	(会館開場予定時刻 8:00)  8:05～ 8:15 参加者連絡会議 (デモ会場【ギャラリー (展示室内)】) 8:15～ 8:45 システムセッティング 8:45～12:00 デモンストレーション審査・ マニュアル審査 9:00～14:00 デモンストレーション 一般公開 (ギャラリー (展示室) )	8:05～ 8:20 参加者連絡会議 (大ホール)
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
14:00	14:00～14:30 システム梱包・業者引き渡し	
	14:30～15:00 特別講演会(大ホール)	
15:00	15:10～16:30 閉会式(大ホール)	

## 1.7 提出書類等

### [1] 9月4日(金)締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の2種類の書類を、平成27年8月28日(金)から9月4日(金)までの期間に、公式サイト上から提出してください。書類の提出方法については、公式サイト「本選に関するオンライン化について」をご覧ください。各書類の提出に当たっては、チェックリストにより内容を確認し、不備のないようにしてください。

#### (1) パンフレット原稿

課題・自由部門の本選出場チームについては、本選時に配付するパンフレットの中に、発表要旨を掲載いたします。また、競技部門の本選出場チームは、同パンフレットの中にシステム概要を掲載いたします。公式サイトに掲載されている本選概要の執筆要項及び見本を参考に原稿執筆の上、課題・自由部門の本選出場チームは「発表要旨」を、競技部門の本選出場チームは「システム概要」をそれぞれ提出してください。パンフレットの印刷の都合上、わずかの遅れも許されませんので、よろしくお願いいたします。

#### (2) システム等の調書

システム等の調書は公式サイトからファイルをダウンロードして記入してください。特に、課題・自由部門の参加者は、会場の設営に必要ですので、表中の「ハードウェア構成」の欄に機種名・台数等をできるだけ詳しく記述してください。デモンストレーション会場においては、必要に応じてインターネット接続環境を準備します。また、競技部門ではシステム等の調書に記載されていない機材は、競技会場への持ち込みを制限することもあります。詳細については公式サイトでお知らせします。

## [2] 10月2日(金)締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の資料を、平成27年9月25日(金)から10月2日(金)までの期間に、公式サイト上から提出してください。書類の提出方法については、公式サイト「本選に関するオンライン化について」をご覧ください。

規定外のものが提出されると失格となることがありますので十分に注意してください。また、締切後の書類の差替えなどは認めません。

### 【各部門共通】

#### (1) プログラムソースリスト表紙及び操作マニュアル表紙

- 表紙は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。

### 【課題・自由部門】

#### (1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- 本選では、提出されたPDFファイルを直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは10MB以内とします。

#### (2) 操作マニュアル

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 起動から終了までのすべての手順を、わかりやすく記述してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号、タイトル、学校名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。
- 操作マニュアルは、表紙を含め12ページ以内で作成してください。
- 本選では、このマニュアルを見て、はじめてシステムに接する人が実際に操作します。
- PDFファイルのファイルサイズは10MB以内とします。

### 【競技部門】

#### (1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、登録番号(300で始まる5桁の番号)、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- 本選では、提出されたPDFファイルを直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは10MB以内とします。

#### (2) システム詳細説明書

- 審査用に使用します
- 様式に従いA4用紙1ページとし、PDFに変換したものを提出してください。
- 登録番号(300で始まる5桁の番号)、タイトル、高専名を記入してください。
- 問題解決へのアプローチ、システム構成、特徴などが審査委員にわかるように記述してください。
- PDFファイルのファイルサイズは10MB以内とします。

## [3] 受付時提出書類

課題・自由部門及び競技部門の本選参加チームは、10月10日(土)の受付時に、次の1種類の書類を



提出してください。

提出されない場合には本選に参加できないことがありますので十分に注意してください。

### 【各部門共通】

#### (1) 著作物等の扱いに係わる同意書(各チーム1通)

- 「1.14 著作物等の扱いについて」に記載した内容(著作物等の利用に関する許諾)について、チームごとに同意書を提出してください。
- 同意書は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。
- 同意書には、登録されている指導教員及び学生が署名し、受付時に提出してください。

#### (2) 緊急連絡先調書(各チーム1通)

- 調書は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。
- 引率教員と学生1名(代表学生)の連絡先(携帯電話の番号等)をご記入ください。
- この書類は第26回大会の緊急連絡にのみ使用し、大会終了後破棄します。

## 1.8 知的財産権について

作品の制作及び発表にあたっては、知的財産権の侵害のないように十分にご注意ください。従前の例では、

- キャラクタの無断利用
- 音楽・映像の無断利用
- 文献等からの無断転載

などがありました。制作にあたる学生は、知的財産権についての理解が不十分なことも多いと思われるので、指導教員はその点について十分にご指導くださいますようお願いいたします。

## 1.9 表彰について

閉会式では、表彰が行われます。表彰では以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞	最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞	優勝 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞
優秀賞	優秀賞	準優勝 第三位
特別賞	特別賞	特別賞
敢闘賞	敢闘賞	

- 課題・自由部門全チームの代表者及び競技部門入賞チームの各代表2名は、**14時15分**までに大ホール客席の指定座席に着席してください。
- 表彰の進行手順については閉会式の前に説明します。
- 本大会と同時にNAPROCK国際プログラミングコンテスト(<http://www.naprock.jp/IntProcon/>)を開催します。海外及び国内の大学からの参加チームを含めて優秀なチームには、以下の各賞が授与されます。

(1) 課題・自由部門 (各々)	国際最優秀賞 Grand Prize	国際優秀賞 Second Prize	国際特別賞 Special Prize
(2) 競技部門	国際優勝 Champion	国際準優勝 First-Runner-up Prize	国際特別賞 Special Prize

## 1.10 学生交流企画について

参加者同士の交流を促進するため、以下のような企画の実施を予定しています。

- (1) 学生交流会 11日(日)
  - 17:00～17:30 学生交流会 その1 デモ会場での交流
  - 17:30～18:30 学生交流会 その2 中ホールにて
- (2) 学生交流企画 11日(日)～12日(月)
  - 会場内において名刺交換
  - 会場内において参加学生の相互評価詳細については、別途ご案内します。

## 1.11 会場使用上の注意点について

付録1に会場案内図を添付します。ご参照ください。

- 大ホール、中ホール、小ホール及びギャラリー（展示室）での飲食は禁止です。
- 貴重品は、身に付けるなどして各自で管理してください。
- プレゼンテーション会場、デモンストレーション会場、競技会場、開・閉会式会場では、必ず携帯電話等はマナーモード等の着信音の出ない状態に設定してください。

## 1.12 宿泊・昼食・指導教員等情報交換会及び会場への交通

- 宿泊についての申込み締切は、8月23日(日)午後24時です。参加者登録受付システム(<https://v3.apollon.nta.co.jp/procon2015>)にて申込みください。参加者登録受付システムについては、予選後に送付した「参加登録・宿泊・お弁当・その他のご案内」に詳細な申込み方法が記載されておりますので、ご参照ください。なお、参加登録・昼食・指導教員等情報交換会の事前申込みをしていないチームは速やかに登録してください。

### 宿泊

学生及び引率教員の宿泊は長野市内のホテルを予定しています。

### 昼食

事前に予約された昼食は、学校毎に配付します。なお、大中小各ホール及びギャラリー（展示室）での飲食は禁止です。

### 指導教員等情報交換会

10月11日(日)の18:30～21:00、大会会場(ホクト文化ホール)から、1km、徒歩約13分に位置する「メルパルク長野」(〒380-8584 長野県長野市鶴賀高畑 752-8 TEL 026-225-7800)において指導教員等情報交換会を開催します。参加費用は一人5000円です。申し訳ございませんが、開始時間までに直接会場にお集まり頂きますようお願い申し上げます。

### 参加者受付

本選前日(10月10日(土))は、「1.6 日程」で説明したように、17:00～19:00の時間に参加者受付を行います。長野駅から大会会場までの経路は、「付録2 交通案内」をご覧ください。

## 会場への交通

JR 長野駅からの所要時間 徒歩：約 10 分、800m

これらの件に関するお問い合わせは、下記の旅行代理店担当者へ直接連絡してください。

日本旅行 西日本M I C E(マイス)営業部

担当：原尻・中井

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第 4 ビル 5F

TEL: 06-6342-0230 FAX: 06-6342-0232 Email : ec\_gakkai@nta.co.jp

営業時間： 平日 9 : 45～17 : 45 (土日祝休)

## 1.13 お問い合わせ先

本選実施要項及び本選に関する問い合わせは、必ず指導教員を介して下記へお願いします。

### 問い合わせ先

〒381-8550 長野県長野市徳間 716

全国高専第 2 6 回プロコン委員会事務局 長野工業高等専門学校 学生課学生係

Tel: 026-295-7018 Fax: 026-295-4950 E-mail: jimmu26@procon.gr.jp

## 1.14 著作物等の扱いについて

提出していただいた資料、撮影した画像・映像等の著作物については以下のように扱いますので、あらかじめご了承ください。もし支障がある場合には、プロコン委員会事務局へご連絡ください。

- 応募時に提出していただいた書類(作品紹介、応募内容ファイル)及び 9 月 4 日(金)締切で提出していただくパンフレット原稿(発表要旨、システム概要)、10 月 2 日(金)締切で提出していただく資料(ソースリスト、操作マニュアル、システム詳細説明書)及び競技部門の解答データは、コンテスト終了後、公式サイト等で全部もしくは一部を公開する場合があります。
- 課題・自由部門のプレゼンテーション及びデモンストレーションをビデオ撮影します。撮影したビデオ及びプレゼンテーション用データを高専の教材として使用する場合があります。
- 本選期間中、コンテストの様様や参加チーム毎のスナップ写真を撮影します。これらの画像はプロコン公式サイト等で公開及びプロコンパンフレット等に掲載する場合があります。
- 本選の様様・結果をインターネット経由で公開する予定です。
- 例年通り、記録ビデオを撮影・編集し、DVD 等で配付するとともに公式サイト等で公開します。
- 本選期間中に撮影された写真やビデオ類は、全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校機構の広報活動に使用されることがあります。

## 1.15 その他の注意事項

- テレビ・新聞・雑誌等の取材を受けた場合は、明るく活発な高専のイメージが出るよう、ご協力をお願いします。
- 本コンテストは、協賛いただいた企業やプロコン委員の先生方、主管校の教職員や学生等、多くの方々からのご支援を受けて開催されています。学生諸君は、感謝の気持ちを忘れないようにしてください。
- 参加学生の服装と身だしなみは、学生に相応しい清楚・質素なものとしてください。

## 2. 課題・自由部門についての連絡事項

### 2.1 システムの搬入・搬出について

- システムの搬送方法については、参加登録の Web ページでご案内した通りです。参加登録時にシステム搬送を申込みされた参加校は、最寄のヤマト運輸支店より、9月中旬までに連絡がきますので、搬送物品や搬送方法について事前に打ち合わせを行ってください。
- システム搬送中の破損事故を防止するため、担当業者と十分に相談してから、発送してください。梱包は依頼者側で行い、どこからでも確認できるよう3面に梱包識別票を必ず貼付してください。
- システムは業者によって、10月11日(日)の朝までにデモンストレーション会場（ホクト文化ホールギャラリー（展示室））に搬入されます。参加チームは、搬入されたシステムの確認を、10月11日(日)の8:30よりデモンストレーション会場で行ってください。10月10日(土)に開梱することは出来ません。
- 搬出については、10月12日(月)の14:00～14:30の間にシステムを梱包の上、梱包識別票を貼付して、業者（ヤマト運輸）に引き渡してください。
- 梱包識別票は、公式サイトからダウンロードできますので、ご利用ください。

### 2.2 プレゼンテーションについて

#### プレゼンテーション審査の概要

- システムの特徴や有用性、制作上のポイントなどの口頭発表を審査します。
- 発表は一人で行うものとします。
- 1テーマあたりの発表時間は8分とし、質疑応答を4分とします。8分を過ぎた時点で発表を停止し、直ちに質疑に移りますのでご注意ください。
- 課題部門で使用できるプロジェクタはエプソン社製 EB-Z8050W、自由部門で使用できるプロジェクタはエプソン社製 EMP-7950 です。詳しくは各プロジェクタのマニュアルをご覧ください。スクリーンは1面のみ利用可能です。なお、ミニ D-SUB15pin ケーブルを用意します。
- パソコン接続及び操作は、発表チームの学生が行ってください。
- プレゼンテーションツールを使用する場合はナレーションを入れることは認めません。必ず口頭で説明を行ってください。ただし、発表全体の構成上必要と思われる場合は、適切な効果音の使用は認めます。
- 発表順序は主催者側で厳正に抽選した結果、7月3日(金)付で送付しました予選通過テーマ一覧のようになりましたのでご了承ください。

#### プレゼンテーション審査のタイムテーブル

付録3、付録4にプレゼンテーション審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意の上、遅れないように準備してください。

#### プレゼンテーション審査についての注意事項

- 発表があるセッションが始まる前に、各発表者は会場で待機してください。また、担当者の指示に従ってパソコンを起動し、すぐに発表できる投影状態にして待機してください。
- 司会者に名前を呼ばれたら、登壇してください。
- 発表は8分、質疑応答は4分です。予鈴は6分で1鈴、8分で2鈴、12分で3鈴、終了です。発表の途中であっても、8分を過ぎた時点で発表を打ち切り、直ちに質疑に移りますので注意してください。
- 審査委員の質問には、発表者だけが答えてください。
- ノートパソコンの操作要員として補助学生をつけても構いません。

## 2.3 デモンストレーションについて

### システム搬入チェック【10月11日(日) 8:30~9:05】

- 搬入された荷物は各ブースに置いてあります。
- 荷物の個数の確認と、外形上の損傷の有無を確認してください。

### システムセッティング【10月11日(日) 10:10~10:40, 10月12日(月) 8:15~8:45】

- ブースの配置と展示スペースの概略寸法は付録5を参照してください。
- システムをセットする机の後ろには、掲示用パネルを用意します。このパネルにシステムの概要を示す概要説明図等を掲示してください。概要説明図の内容は自由ですが、システム名(タイトル名)を明示してください。なお、説明は一般の入場者にもわかりやすいように工夫してください。
- 各作品は、机や発表者の椅子なども含めて幅 180cm、奥行 180cm、高さ 240cm の範囲内にセッティングしてください。発表者もこの範囲内でデモを行ってください。なお、机は幅 180cm、奥行は 60cm(机1台)または 120cm(机2台)です。標準は机2台としますが、システム等の調書で0~2台を選択することができ、椅子についても0~2脚を選択できます。
- 展示ブースの壁は幅 180cm、高さ 240cm 程度(ただし、下 70cm は机を設置した場合には見えなくなるので注意が必要)空いています。パーティションへの資料の固定には画鋲を使用しても構いませんが、セロハンテープ等粘着性のあるもの及びネジがついた埋め込み式の止め具は使用できません。画鋲を押し込む量は掲示物を固定できる最低限の量としてください。画鋲やS字フック、吊り下げのためのチェーン、紐等、展示に必要な物品・道具は主催者側では用意しません。必要に応じて各チームで用意してください。なお、会場の都合により、ブースは背中合わせとなり、違うチームが同じパーティションの両面を使うこととなりますので、ご了承ください。
- システム搬入に使用した段ボール箱などは、所定の置き場(デモ会場奥の展示事務室、または楽屋ロビーの所定の場所)に整理・整頓して納めてください。机の下に置く場合も整理・整頓して納めてください。
- システムを置く机の下にコンセントを少なくとも1口は準備します。それ以上必要な場合はテーブルタップ等を準備してください。また、ブースあたりの合計容量は 500W 以下 です。容量オーバーによる停電等電氣的トラブルが発生しますと、大会に重大な影響がでますので、この電力を絶対に超えないようにしてください。
- 各ブースには必要に応じて、インターネット接続用(対外接続 100Mbps のベストエフォート)のLANケーブルを1本用意します。さらに、デモ会場内に無線によるインターネット接続(ベストエフォート)を提供する予定です。各ブースで無線LANアクセスポイントを設置することは各チームの判断に任せますが、電波混雑により通信に影響がでることも予想されます。タブレット端末等が単にインターネット接続ができればよい場合等はできるかぎり主管校提供のアクセスポイントをご利用いただいてブース内での無線LANアクセスポイントの設置を控えていただき、会場内の電波混雑緩和にご協力ください。ただしいずれの場合も、インターネット接続ができなくてもデモができるようにシステムを構築して下さい。
- システムの最終調整と、ブース内の整理整頓を行ってください。
- 一般公開とデモンストレーション審査に備えてください。

### デモンストレーション一般公開【10月11日(日) 10:40~17:00, 10月12日(月) 9:00~14:00】

デモンストレーションは、学習や取り組みの成果を、学外の方々に公開する大きな意義があり、高専学生の熱気と創造性豊かなエネルギーを発表する場であることを十分に認識し、次の項目に沿って実施してください。

- 一般入場者にも、親切に分かりやすく説明してください。各テーマに精通した方や全くの素人の方、年輩の方や子供さんの見学が予想されます。相手に応じた説明を心がけてください。
- 一般公開は、プレゼンテーション審査、デモンストレーション審査及びマニュアル審査と並行して行います。

- 各ブースでの審査時は、一般公開での説明などを中断してください。
- 会場の各作品のブースには、説明者を常時2名以上配置してください。
- 昼食などは交代で取り、説明者が不在とならないようにしてください。
- 情報交換の場として、積極的に利用してください。

#### デモンストレーション審査【10月12日(月) 8:45~12:00】

- 審査委員は、グループに分かれ巡回審査します。審査委員が審査に来られたら、システムを実行させ操作しながら説明してください。また、審査委員の質問にも答えてください。
- 審査時間は、説明時間が2分、質疑応答が5分、計7分を原則としますが、審査委員の指示にしたがってデモンストレーションを進めてください。
- 審査対象は課題・自由部門の全ての作品です。
- デモンストレーション審査は一般公開と並行して行われますが、審査を優先してください。審査には運営責任者としてプロコン委員1名がつきます。

#### マニュアル審査【10月12日(月) 8:45~12:00】

提出した操作マニュアルどおりにシステムが動くかどうかのチェックを行います。

- 作品の審査時間は、移動を含めた7分間です。
- マニュアル審査は1名で行います。審査には運営責任者としてプロコン委員1名がつきます。
- 審査対象は課題・自由部門の全作品です。
- マニュアル審査も一般公開と並行して行われますが、審査を優先とします。

#### デモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブル

付録6にデモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意してください。

#### システムの搬出【10月12日(月) 14:00~14:30】

- デモシステムを梱包し、梱包識別票を貼付して各ブースの机の上に置いてください。
- 搬出のための梱包が完了した時点で、搬送業者に引き渡してください。輸送用ボックスの場合収納スペース以内であれば手荷物等の返送も自由ですが、輸送業者と相談の上、参加者の責任で依頼してください。
- “ごみの持ち帰り”や“忘れ物”には特に注意してください。
- 使用したブースの“後片付け”と“清掃”を実施してください。
- 梱包に必要な資材は参加者で準備してください。

## 2.4 本選審査手順について

### I.各審査委員における評定

#### 1.プレゼンテーション審査: A, B, C の3段階評価をします。

独創性(最重点), システム開発の技術力(プログラムソースリストを含む), 記述力, 発表能力, 有用性等を総合して評価します。

#### 2.デモンストレーション審査: A, B, C の3段階評価をします。

独創性(最重点), 技術力, 有用性, 操作性, 発表能力, 発表揭示, 完成度等を総合して評価します。

#### 3.マニュアル審査: 正確性・記述力に関してそれぞれ5段階、3段階の評価をします。

正確性: A : マニュアルどおりに動作する。

A' : マニュアルどおりに動作するが、説明を受けないと分かりにくい。

B : 一部マニュアルどおりに動作しない。

B' : マニュアルどおりに動作しない状態が何箇所かある。  
C : マニュアルとして不備が目立つ。  
記述力: A, B, C の 3 段階評価(わかりやすさなど)

## II. 選考の流れ

### 1. 評価一覧表の作成

一覧表に、各審査委員からの評価(A, B, C 等)を入力します。

### 2. 点数換算集計表の作成

プレゼンテーション、デモンストレーションの審査評価は下記のように換算します。

A=6, B=3, C=1 ; 各部門、審査委員の評価を合計します。

マニュアルの審査評価は下記のように換算します。

正確性に関しては、A=7, A'=5, B=3, B'=2, C=1

記述力に関しては、A=3, B=2, C=1

プレゼンテーション・デモンストレーション・マニュアルの評価を合計し総合得点とします。

### 3. 成績順位表の作成

総合得点の高い順にソートし、順位を算出します。

### 4. 選考の順序

以下の順序に従い、審査委員会で審議・合議の上、判断します。

#### (i) 最優秀賞, 優秀賞

得点のみの情報を提示し、上位ノミネートチーム数を決定する。審査委員ごとに、上位ノミネートチームについて順位を投票用紙に記入する。上位票における審査委員数の獲得数で文部科学大臣賞(最優秀賞)、優秀賞を決定する(新增沢方式)。

#### (ii) 特別賞

(i)で最優秀、優秀に選ばれなかったチームから、課題部門・自由部門とも 4 チーム以内で選考する。

#### (iii) 佳作

佳作に該当する作品があるかどうか、審議する。

※ 残りの作品は敢闘賞となる。

【参考】 新增沢式採点法 <http://ja.wikipedia.org/wiki/新增沢式採点法> (Wikipedia より)

### 3. 競技部門についての連絡事項

#### 3.1 組み合わせ

1 回戦の組み合わせは、審査委員に厳正にマジックナンバーを決めていただき、それを種としたコンピュータの擬似乱数により決定しました。決定した組み合わせは「付録 7 競技組み合わせ」の通りです。

#### 3.2 競技進行の概要

- 競技は、1 回戦 4 試合、敗者復活戦 2 試合、準決勝 3 試合、決勝 1 試合により行います。
- 予行演習・1 回戦は 10 月 11 日(日)、敗者復活戦・準決勝・決勝は 10 月 12 日(月)に行います。

#### 3.3 勝ち上がりチーム数

1 試合で 3 問行い、各問題の結果で順位が上位のチームが、次の問題に進みます。3 問目の結果で順位が上位のチームが、次の試合に進出します。ただし、決勝戦については、1 試合 1 問のみにて決めます。

試合	1 問目	2 問目	3 問目
1 回戦	13 チーム	10 チーム	7 チーム
敗者復活戦	13 チーム	11 チーム	8 チーム
準決勝	13 チーム	9 チーム	6 チーム

#### 3.3 競技部門の賞

- 決勝戦での成績により、高専プロコン競技部門の優勝(文部科学大臣賞)、準優勝、第 3 位を決定します。
- 応募書類、提出書類及び競技内容から特別賞を選考します。選考方法は競技の順位によらず、アイデア・技術力・完成度をパンフレットに記載されたシステム概要を含めて評価するものです。
- 国際大会の成績は、海外チーム・大学生チームを含めた決勝戦での順位により決定します。

#### 3.4 予行演習

競技に先立って予行演習を行います。全チーム参加してください。

日時: 10 月 11 日(日) 10:10～

会場: 競技会場(大ホール)

予行演習のスケジュール等は競技部門参加者連絡会議(10 月 11 日(日) 8:40～、大ホール)で連絡します。全チーム必ず参加してください。

#### 3.5 注意事項

- 付録 7 の組み合わせにあるように、1 つの対戦は最大 18 チームです。予行演習も最大 18 チームとなります。
- 準決勝からは国際大会となり、海外チーム・大学生チームが参加します。1 回戦にはこれらのチームがオープン参加することがありますが、国内チームの準決勝には関係ありません。
- 大ホールステージ上のテーブルには、各チームに電源コンセントを 2 口(最大 150W 程度)用意する予定です。それ以上必要な場合はテーブルタップ等を準備してください。



- その他、今後の追加情報等については、随時プロコン公式サイトに掲載します。必ず確認するようにしてください。

### 3.6 質問受付

プロコン公式サイト(<http://www.procon.gr.jp/>)から参照できる第 26 回大会のサイトには、8 月 16 日現在、次の情報が公開されています。

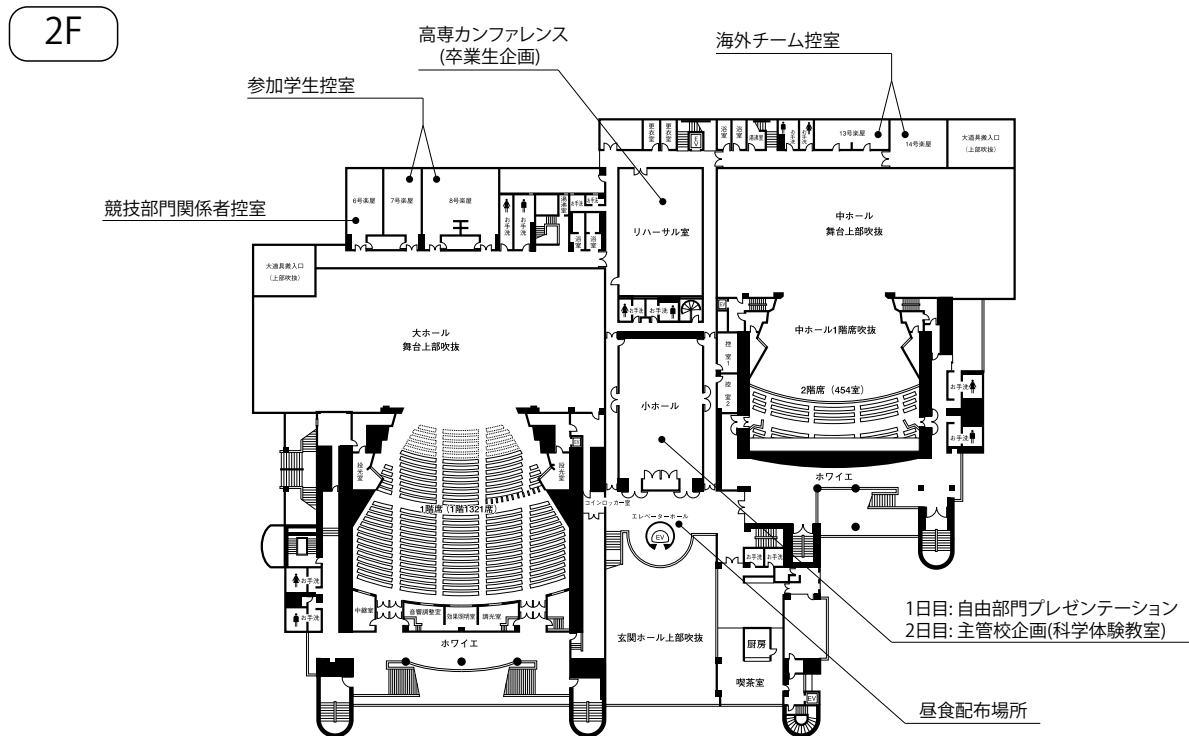
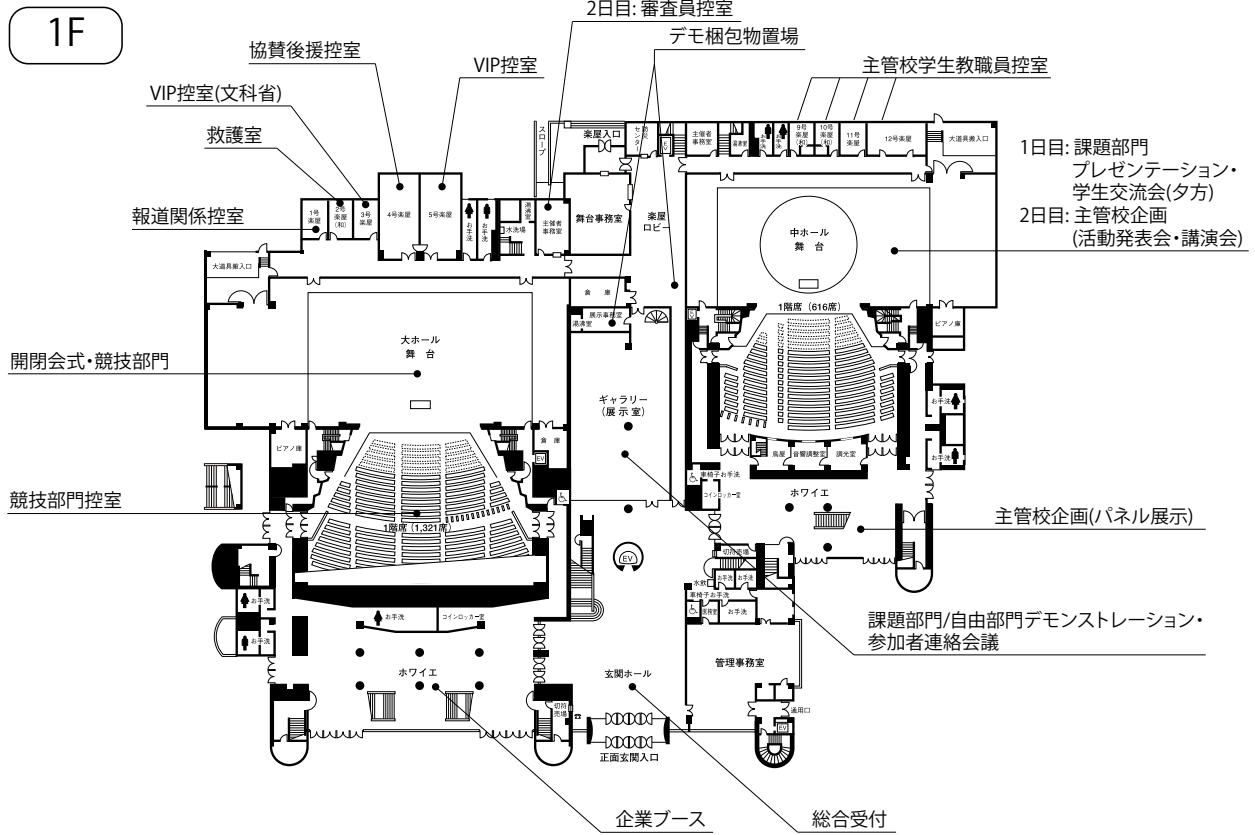
- 部門のご案内「競技部門」
- FAQ「競技部門」
- 競技部門追加情報のご案内

以上の内容を確認された上で不明な点がある場合は、8 月 28 日(金)17:00 まで質問を受け付けますので、プロコン委員会事務局の下記メールアドレスまでお問い合わせください。お問い合わせの回答はプロコン公式サイトで逐次公開しますので、ご参照ください。

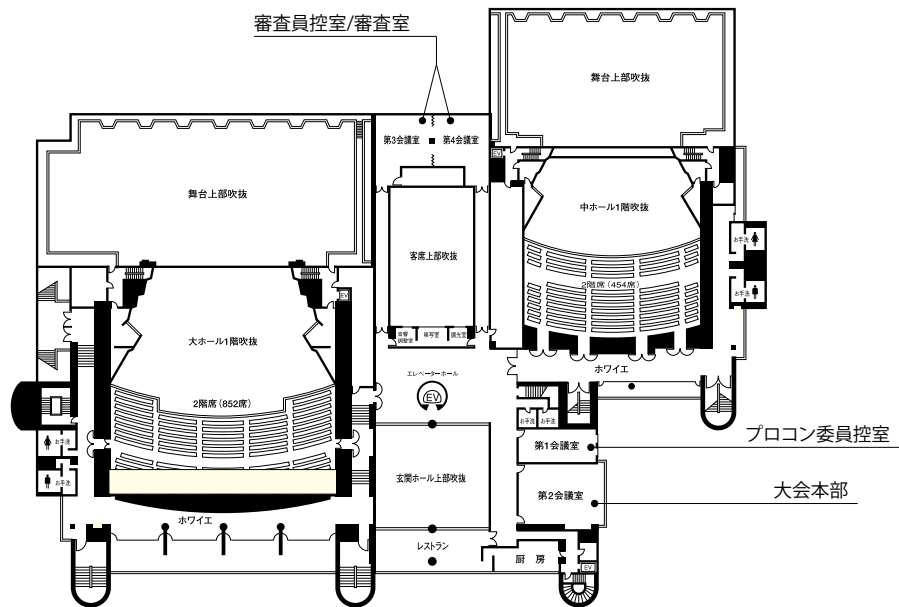
問い合わせメールアドレス： [jimu26@procon.gr.jp](mailto:jimu26@procon.gr.jp)

- 問い合わせの際は、必ず指導教員を介して行ってください。その際には、教員の所属(高専名、所属学科など)と名前を、必ず明記してください。所属や名前が記載されていない場合は、回答できないこともあります。
- 質問は公開されることを念頭においてください。競技の勝敗を左右するようなアイデアでも公開します。
- 締め切り後に届いた質問に関しては回答できません。

# 会場案内図



3F



ホクト文化ホール  
〒380-0928 長野県長野市若里 1-1-3  
TEL: 026-226-0008  
<http://www.n-bunka.jp/>



# 交通案内



ホクト文化ホール  
〒380-0928 長野県長野市若里 1-1-3  
TEL: 026-226-0008  
<http://www.n-bunka.jp/>



Google Maps

## 課題部門 プレゼンテーション審査 タイムテーブル

審査日時 10月11日(日)10:10～16:31  
 会場 中ホール  
 発表持ち時間 発表時間8分、質疑応答4分、交代1分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
1	10:10 ～ 10:22	StreaMap 一流れで見える避難経路	松江
2	10:23 ～ 10:35	Our Maps 一災害図上訓練支援システム	新居浜
3	10:36 ～ 10:48	ムスリムのための災害を考慮した日本旅行支援システム	金沢
4	10:49 ～ 11:01	連絡取る～ん 一ドローンが救う孤立地域	松江

11:01 ～ 11:09 休憩8分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
5	11:09 ～ 11:21	避難所足スト 一ひとりひとりのサポーター	香川(高松)
6	11:22 ～ 11:34	Smokemarker Of Sympathy	仙台(広瀬)
7	11:35 ～ 11:47	汝の隣人を安否確認せよ 一リアルタイム点呼表作成システム	鈴鹿
8	11:48 ～ 12:00	むすぶつし 一困ったときはお互いさま	熊本(熊本)
21 ペトロナス	12:06 ～ 12:20	未定	ペトロナス 工科大学
22 台北科技大	12:21 ～ 12:35	未定	国立台北 科技大学

12:35 ～ 13:40 休憩65分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
9	13:40 ～ 13:52	災害時無線通信供給システム安導君	岐阜
10	13:53 ～ 14:05	Androne 一遠隔操作型 避難誘導ドローン	豊田
11	14:06 ～ 14:18	あしまっ！ 一自治会で作る防災マップ	香川(詫間)
12	14:19 ～ 14:31	Bridge Builder 一緊急ネットワークシステム	釧路

14:31 ～ 14:40 休憩9分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
13	14:40 ～ 14:52	HOTTOK 一避難所生活支援システム	米子
14	14:53 ～ 15:05	ホップ！ステップ！マップ！ 一小学校での安全活動支援システム	東京
15	15:06 ～ 15:18	CO-OP 一伝えたいまだ助かる命	鹿児島
16	15:19 ～ 15:31	ダレカタスケター	鈴鹿

15:31 ～ 15:40 休憩9分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
17	15:40 ～ 15:52	FREE LOCATION 一「第2の災害」を防ぐために	一関
18	15:53 ～ 16:05	Local Hazard Alarm 一防災局地情報通知	阿南
19	16:06 ～ 16:18	NANASE 一緊急時所在・安否確認システム	米子
20	16:19 ～ 16:31	やまび～こん 一あなたの登山をiBeaconがお助け	熊本(八代)

プレゼンテーション審査終了

## 自由部門 プレゼンテーション審査 タイムテーブル

審査日時 10月11日(日)10:10～16:31  
 会場 小ホール  
 発表持ち時間 発表時間8分、質疑応答4分、交代1分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
1	10:10 ～ 10:22	エモナイザー —感情を音にするシンセサイザー—	熊本(熊本)
2	10:23 ～ 10:35	色わかる	仙台(広瀬)
3	10:36 ～ 10:48	びーこん館 —Beaconを活用した次世代図書館システム—	高知
4	10:49 ～ 11:01	SwipeTalk —いちばん手軽なメッセージ—	沖縄

11:01 ～ 11:09 休憩8分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
5	11:09 ～ 11:21	Canvas	香川(詫間)
6	11:22 ～ 11:34	Vitra Recipe —スマートグラス料理支援システム—	八戸
7	11:35 ～ 11:47	脊椎でみる骨粗鬆症診断	新居浜
8	11:48 ～ 12:00	あやどる	熊本(熊本)

12:00 ～ 13:20 休憩80分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
21 ペトロナス	13:20 ～ 13:34	未定	ペトロナス 工科大学
9	13:40 ～ 13:52	Smart AIS —海内の旗幟—	弓削商船
10	13:53 ～ 14:05	VirtuaLive —リアルとバーチャルの超結合で超没入—	沖縄
11	14:06 ～ 14:18	LouiseのAutomeEngine —キミと育む響想曲—	釧路
12	14:19 ～ 14:31	Familiar Map —地域情報マップ—	舞鶴

14:31 ～ 14:40 休憩9分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
13	14:40 ～ 14:52	Pianist —鍵盤楽器運指練習システム—	徳山
14	14:53 ～ 15:05	音theBounce !	久留米
15	15:06 ～ 15:18	素敵な劇しまSHOW —PowerPointで劇の演出支援—	鳥羽商船
16	15:19 ～ 15:31	NY BATH GUIDE —入浴見守りシステム—バスガイド—	阿南

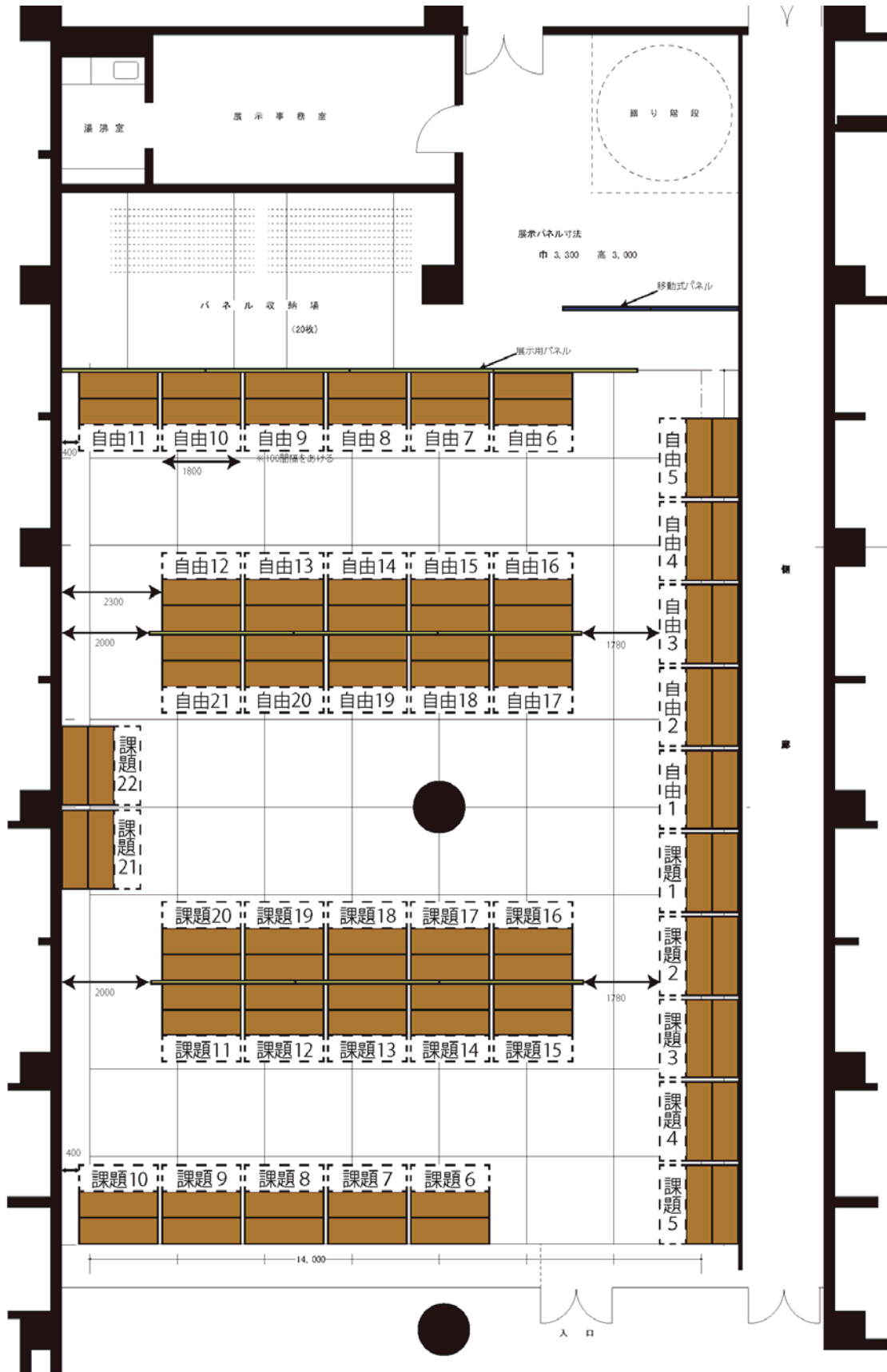
15:31 ～ 15:40 休憩9分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
17	15:40 ～ 15:52	mood maker —音と照明による新しい作業環境の提案—	サレジオ
18	15:53 ～ 16:05	プラネオ —Planetarium x OculusRift—	長野
19	16:06 ～ 16:18	PULL DOG —視覚障がい者導きシステム—	東京
20	16:19 ～ 16:31	HAL2015 —HeatupActiveLearning—	弓削商船

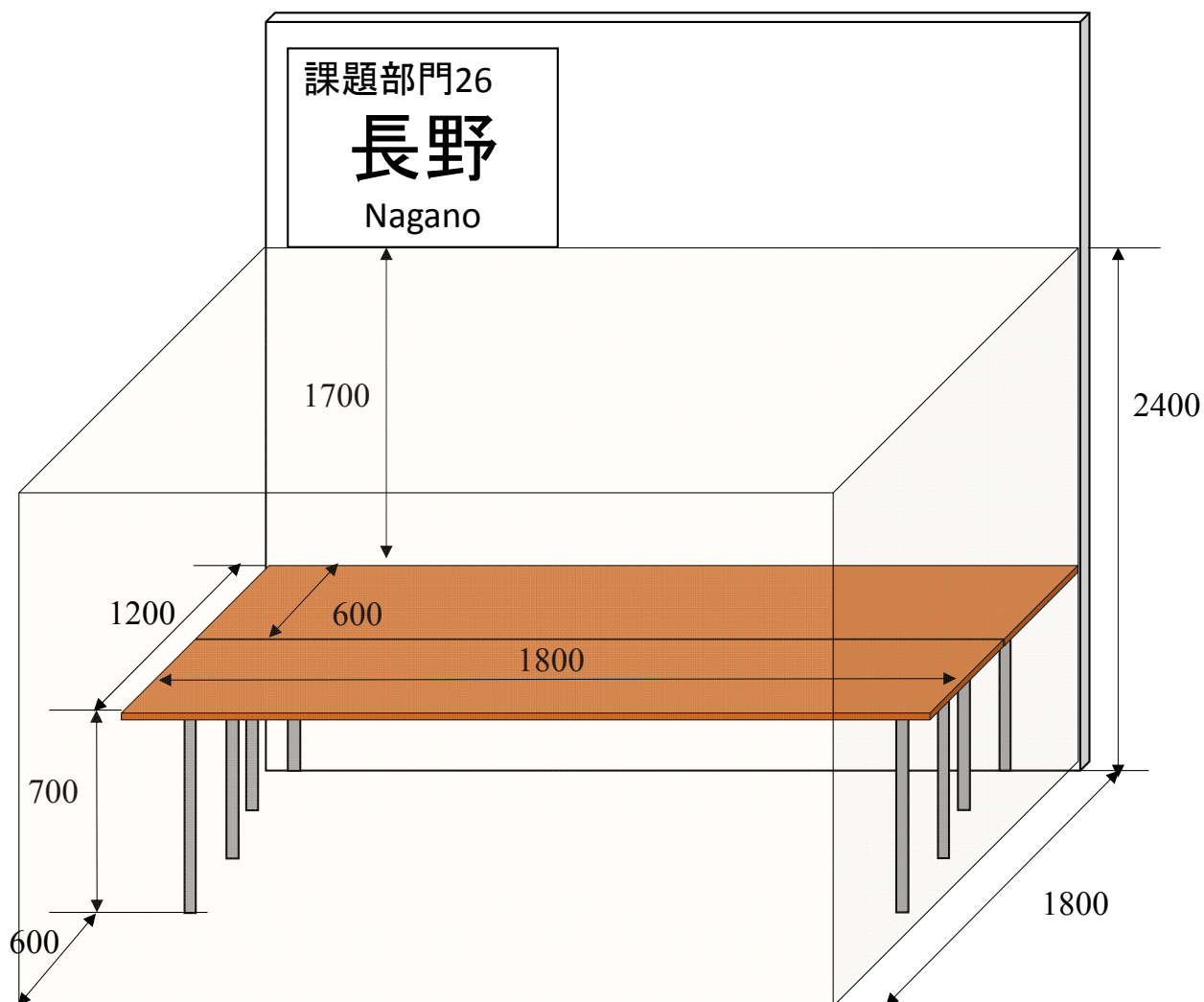
プレゼンテーション審査終了

# ブースの配置と展示スペースの概略寸法

## ●ブースの配置(展示ホール)



## ●課題・自由部門 展示スペースの概略寸法



## 注意事項

- 各ブースは幅 180cm、奥行き 180cm、高さ 240cm です。
- 高さ 240cm の上部に発表番号と高専名を表示します。この表示から上部には、はみ出ないように展示してください。
- ブースによって、背面が展示パネルの場合と、会場壁面である場合があります。
- 展示用パネルは横幅 330cm であるため、パネルの枠（金属製）が背面に位置することがあります。展示用パネルには、高さ 200cm 付近に約 80cm 間隔で、高さ 1cm 程度で直径 1cm 程度のでっぱりがあります。
- 幅 180cm、奥行き 60cm、高さ 70cm の机を 0~2 台使用できます。机を使用する場合、掲示パネルの掲示可能領域の高さは 170cm となります。
- コンセントおよび LAN ケーブルは、机の下に敷設する予定です。



## 課題部門 ・ 自由部門

## デモンストレーション審査&amp;マニュアル審査 タイムテーブル

審査日時 10月12日(月) 8:45～11:44  
 会場 展示室  
 審査時間 7分(説明2分、質疑応答5分、移動を含む)

審査時間	課題部門			自由部門		
	A班	B班	C班	D班	E班	F班
8:45 ～ 8:52	1	13	7	21 ペトロナス	10	16
8:52 ～ 8:59	2	14	8	1	11	17
8:59 ～ 9:06	3	15	9	2	12	18
9:06 ～ 9:13	4	16	10	3	13	19
9:13 ～ 9:20	5	17	11	4	14	20
9:20 ～ 9:27	6	18	12	5	15	21 ペトロナス
9:27 ～ 9:34	7	19	13	6	16	1
9:34 ～ 9:41	8	20	14	7	17	2
9:41 ～ 9:48	9	21 ペトロナス	15	8	18	3
9:48 ～ 9:55	10	22 台北科技大	16	9	19	4
9:55 ～ 10:20	休憩時間 (25分)					
10:20 ～ 10:27	11	1	17	10	20	5
10:27 ～ 10:34	12	2	18	11	21 ペトロナス	6
10:34 ～ 10:41	13	3	19	12	1	7
10:41 ～ 10:48	14	4	20	13	2	8
10:48 ～ 10:55	15	5	21 ペトロナス	14	3	9
10:55 ～ 11:02	16	6	22 台北科技大	15	4	10
11:02 ～ 11:09	17	7	1	16	5	11
11:09 ～ 11:16	18	8	2	17	6	12
11:16 ～ 11:23	19	9	3	18	7	13
11:23 ～ 11:30	20	10	4	19	8	14
11:30 ～ 11:37	21 ペトロナス	11	5	20	9	15
11:37 ～ 11:44	22 台北科技大	12	6			

## 注意事項

- ① A班、B版、D版、E班はデモンストレーション審査  
C班、F班はマニュアル審査を示す。
- ② 1 ～ 20 はプレゼンテーション審査の発表順番号の作品を示す。  
課題部門の21、22および自由部門の21は海外チームの作品を示す。
- ③ ペトロナスはペトロナス工科大学を示す。
- ④ 台北科技大は国立台北科技大学を示す。

## 競技部門の組合せ

## 1回戦

ブース	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合
1	一関	群馬	奈良	阿南
2	豊田	宇部	都城	木更津
3	舞鶴	沼津	都立(品川)	長野
4	八戸	秋田	岐阜	津山
5	熊本(八代)	徳山	有明	松江
6	鳥羽商船	久留米	茨城	熊本(熊本)
7	釧路	仙台(広瀬)	近畿大学	都立(荒川)
8	米子	サレジオ	大阪府大	北九州
9	神戸市立	旭川	香川(詫間)	呉
10	福島	新居浜	長岡	小山
11	鹿児島	苫小牧	福井	石川
12	函館	弓削商船	大分	仙台(名取)
13	香川(高松)	沖縄	明石	富山(射水)
14	佐世保	和歌山	東京	鈴鹿
15	大島商船	モンゴル国立大学	香港IVE	ハノイ国家大学
16	ペトロナス工科大学	神戸大学	豊橋技術科学大学	中京大学

※各試合上位7チームが準決勝へ進出する。8位以下は敗者復活戦へ。

## 敗者復活戦

ブース	第1試合	第2試合
1	1-1-8	1-2-8
2	1-3-8	1-4-8
3	1-3-9	1-1-9
4	1-4-9	1-2-9
5	1-1-10	1-4-10
6	1-2-10	1-3-10
7	1-2-11	1-1-11
8	1-4-11	1-3-11
9	1-1-12	1-3-12
10	1-2-12	1-4-12
11	1-4-13	1-1-13
12	1-3-13	1-2-13
13	1-1-14	1-2-14
14	1-3-14	1-4-14
15	1-3-15	1-1-15
16		1-2-15

各試合上位8チームが準決勝へ進出する。

## 準決勝

ブース	第1試合	第2試合	第3試合
1	ペトロナス工科大学	モンゴル国立大学	香港IVE
2	ハノイ国家大学	神戸大学	豊橋技術科学大学
3	中京大学	1-2-1	1-3-1
4	1-1-1	1-3-2	1-2-2
5	1-4-1	1-1-2	1-4-2
6	1-2-3	1-4-3	1-1-3
7	1-3-3	1-1-4	1-2-4
8	1-4-4	1-3-4	1-4-5
9	1-2-5	1-2-6	1-1-5
10	1-3-5	1-4-6	1-3-6
11	1-1-6	1-1-7	1-2-7
12	1-4-7	C-2-1	1-3-7
13	C-1-1	C-1-3	C-1-2
14	C-2-2	C-2-4	C-2-3
15	C-1-4	C-1-5	C-1-6
16	C-2-5	C-2-6	C-1-7
17	C-2-7	C-1-8	C-2-8

※各試合上位6チームが決勝へ進出する。

## 決勝戦

ブース	第1試合
1	S-1-1
2	S-2-1
3	S-3-1
4	S-1-2
5	S-2-2
6	S-3-2
7	S-1-3
8	S-2-3
9	S-3-3
10	S-1-4
11	S-2-4
12	S-3-4
13	S-1-5
14	S-2-5
15	S-3-5
16	S-1-6
17	S-2-6
18	S-3-6

※ X-Y-Z は X 回戦-第 Y 試合-第 Z 位 を表します。

※ ただし、X 部分の C は敗者復活戦、S は準決勝を表します。

※ 1回戦には海外・大学チームがオープン参加します。オープン参加のチームの成績は、日本チームの順位には関係ありません。

※ 準決勝・決勝はNAPROCK国際プロコン(国際大会)を兼ねて実施されます。準決勝・決勝の海外・大学チームは国際大会の公式エントリで、日本チーム・海外・大学チームの区別なく、試合の成績により決勝進出や準決勝・決勝での国際大会の順位が決まります。

※ 全国高等専門学校プログラミングコンテストの順位については、海外・大学チームを除きます。

## 同意書

プログラミングコンテスト委員会が、以下の著作権物等を以下のような用途及び範囲で利用することを許諾します。

### 【対象（著作物等）】

- ・ 応募時提出書類（作品紹介または応募内容ファイル）
- ・ パンフレット原稿（発表要旨またはシステム概要）
- ・ プレゼンテーションに用いたファイルおよびデータ
- ・ 操作マニュアル
- ・ プレゼンテーション、デモンストレーション、競技等のビデオ及び写真
- ・ 競技部門の解答データ

### 【用途】

- ・ 大会記録
- ・ 主として高専学生を対象とした教材への利用
- ・ マスコミ等への取材協力
- ・ 全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校機構の広報活動

### 【公開範囲】

- ・ プロコン公式サイト
- ・ 記録 CD/DVD
- ・ パンフレット 等
- ・ プロコンのライブ配信 等
- ・ 高専学生用 e-Learning システム 等
- ・ TV、新聞、雑誌等への掲載

上記内容に同意します。

2015年 月 日

高 専 名： \_\_\_\_\_ 高等専門学校

部 門 名： 課題 ・ 自由 ・ 競技 部門

作品タイトル： \_\_\_\_\_

署 名（自 署）：

指導教員 \_\_\_\_\_

学 生 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

**全国高等専門学校**  
**第 26 回 プログラミングコンテスト**  
**システム等の調書**

部 門 (○で囲む)	課題部門	自由部門	発表順 (登録番号)	( )
タ イ ト ル				
学 校	校 名	高等専門学校		
	住 所	〒		
	電 話	( ) —		
指 導 教 員	学 科			
	氏 名			
シ ス テ ム	デモンストレーションのハードウェア構成  デモンストレーション時の使用電力 約_____ワット (合計 500 ワット以下にしてください。)			
そ の 他 (○で囲む)	■システムセット用テーブル台数： [ 不要 1台 2台 ] ■椅子 (パイプ椅子) 脚数： [ 不要 1脚 2脚 ] ■有線インターネット接続の有無： [ 接続する 接続しない ] ■主管校提供の無線 LAN： [ 使用する 使用しない ] ■無線 LAN AP の持ち込み： [ 持ち込む 持ち込まない ] ■システム搬送： [ 指定業者に依頼 参加者自身で搬送 ] ■要望事項・連絡事項等：			

注意：別紙の注意事項を参照の上、記入してください。

**提出期間：8月28日(金)～9月4日(金)**  
**提出方法：オンライン登録**

## システム調書記入上の注意事項：

1. 課題・自由部門では、有線および無線 LAN によるインターネット接続を以下の条件で提供します。
  - 各ブースに 1 ポートの UTP ケーブルを提供します。
  - 無線 LAN の方式は 802.11n (2.4GHz/5GHz) で、暗号化方式は WPA2/PSK です。デモ会場の SSID およびパスワード等については、参加者連絡会議でお知らせします。
  - 主催者側では、インターネット接続を保障するものではありません。障害発生時のことも考慮に入れてシステムを構成してください。
  - HUB、ルータ等は各自で準備してください。
  - ネットワーク接続は、DHCP によるアドレス発行を行います。
2. 無線 LAN AP を持ち込む場合は、その概略仕様等をお知らせください。
3. テーブルや参加者用の椅子なども含めて幅 180cm、奥行 180cm、高さ 240 cm の範囲に置けるものとしてください。
4. 各ブースのテーブル（幅 180cm、奥行 60cm、高さ 70cm）は委員会で設置を予定しています。必要数を「その他」の欄にて○で囲んで教えてください。なお、2 台設置する場合は手前に並べますので幅 180cm、奥行き 120cm となります（本選実施要項の付録 5 参照）。

**全国高等専門学校**  
**第26回 プログラミングコンテスト**  
**システム等の調書**

部 門	競 技 部 門	登 録 番 号	
学 校	校 名	高等専門学校	
	住 所	〒	
	電 話	(            )            —	
指 導 教 員	学 科		
	氏 名		
シ ス テ ム	使用機器の構成 (使用するノートパソコンの台数。特別なデバイスや LAN を 使用予定の場合は、その概略仕様等。)		

**提出期間：8月28日(金)～9月4日(金)**  
**提出方法：オンライン登録**

##部門：発表順番号（登録番号） ##（#####）

タイトル：「#####」

学校名：####高等専門学校

学生氏名：## ##

## ##

## ##

## ##

## ##

指導教員：## ##

##部門：発表順番号（登録番号） ##（#####）

タイトル：「#####」

学校名：####高等専門学校

学生氏名： ## ##

## ##

## ##

## ##

## ##

指導教員： ## ##



競技部門：登録番号      # # # # #

チーム名：「# # # # # # # # # # # # # # # # # #」

学校名：# # # # 高等専門学校

学生氏名：    # #    # #

                  # #    # #

                  # #    # #

指導教員：    # #    # #

## 緊急連絡先調書

第26回プログラミングコンテストにおける緊急連絡先として、以下の情報をお知らせいたします。

高 専 名： \_\_\_\_\_ 高等専門学校

部 門 名： 課題 ・ 自由 ・ 競技 部門

引 率 教 員 名： \_\_\_\_\_

引率教員連絡先： \_\_\_\_\_  
(携帯電話等の番号)

学生代表者氏名： \_\_\_\_\_

学 生 連 絡 先： \_\_\_\_\_  
(携帯電話等の番号)

宿 泊 先 名： \_\_\_\_\_

宿泊先電話番号： \_\_\_\_\_

※この書類は本コンテストの緊急連絡にのみ使用し、大会終了後破棄します。

高 専

都道府県

課題・自由 部門 発表順番号 \_\_\_\_\_

梱包No. \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ 個中